



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第12号
平成28年12月22日
発行者 校長 遠藤隆宏

2学期終了しました。ご協力ありがとうございました。

本日、第2学期の終業式を無事終えることができました。長い2学期、保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご支援をいただき、本当にありがとうございました。

9月の方部音楽祭、11月のしらみず祭りと大きな行事を成功させ、修学旅行や見学学習、様々な体験活動もたくさん行った2学期でした。

明日の天皇誕生日から、1月9日の成人の日まで、18日間は冬休みです。年末年始、家族でいっしょに過ごしたり、親戚の方々と顔を合わせたりする機会も多いことと思います。生活リズムを崩さず、かぜやインフルエンザに注意して、楽しく過ごせるようお願いいたします。

2学期の主な行事を振り返って・・・



方部音楽祭 9/7
7人の力を集結した合奏は、会場全体から大きな拍手をいただきました。



修学旅行 9/30
5、6年生は自分たちで計画を立てて、東京方面の修学旅行を楽しみました。



遠足 9/30
2、4年生は、いわき市石炭化石館を見学し、おいしいお弁当を食べました。



しらみず祭り 10/23
劇・体育・合奏とこれまでの学習の成果をたくさん発表することができました。



持久走記録会 11/16
坂道の上下りなど、困難や苦しさにも負けず、全員が自己新記録を出すことができました。



職業出前講座 11/25
フランス料理のシェフをお招きし、食のお話とおいしい料理を楽しみました。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、よりよい学校づくりに役立てていきたいと思っています。結果は来月に配布する予定です。

一人ひとりが大切な存在・・・体調管理にご注意ください

本格的な冬になり、かぜやインフルエンザが流行する時期になりました。本校でも、今月は熱を出したり体調を崩したりして欠席する児童が増加傾向にありました。

全校生が7名なので、一人でも欠けるとすごく淋しい感じがします。まして、2人、3人となると、本当に淋しくなってしまう。

6年生は日頃3名で学習していますが、2人が欠席した日がありました。そんな時、「一人だけって淋しいですね。」とぼそっとつぶやいた言葉が耳に残っています。

朝の集団登校時にも、「今日は〇〇君はお休みですか？」と気にかけている子どもたちもたくさんいます。7名の一人ひとりが本当に子どもたちにとってお互いに大切な存在です。

明日から冬休みになりますが、お子さんの健康管理には十分ご注意ください。1月10日の3学期始業式の日、7名が元気いっぱい登校してくることを待っています。



授業参観・個別懇談、お世話になりました

師走のお忙しい中、時間を割いてご来校いただき、ありがとうございました。日常の授業の様子を見ていただき、その後、保護者おひとりおひとりと個別に懇談し、お子さんの様子について話し合うことができました。

今回、お話しした内容は、今後の指導に役立てていきたいと考えています。今後も、ご不明な点やご心配な点がございましたら、学校、担任までご連絡ください。

また、学校評議員の方々にもご来校いただきました。心より御礼申し上げます。学校についてのご意見等をいただければ幸いです。



〈2年生の授業参観の様子〉

内町小・宮小の授業に参加してきました

5月の体育、7月の算数に続いて、12月7日(水)に、本年度3回目の近隣小学校との合同授業に参加してきました。本校6年生3名は内町小学校へ、5年生の1名は宮小学校へ出向き、多人数の中でいっしょに学ぶ経験を積んできました。

6年生は前回の宮小での体験もあったので、今回は、最初に通された校長室でもさほど緊張している様子は見られませんでした。授業でも、先生の質問に手を挙げたり、黒板の前に出て考えを説明したりする場面もありました。

5年生は一人だけなので、出発する前からかなり緊張しているようでしたが、宮小学校の5年生がたいへんあたたかく迎え入れてくれて、緊張感はかなり和らいだようでした。

隣の席の子ども相談しながら学習を進めることができ、授業の最後の場面では、前に出て自分の考えを説明することができました。

こうした体験は、中学校進学への不安感を少なくすると共に、20人以上の学級の一員としての学び方を感じ取るという意義があります。

これからも、機会を作って、近隣校との合同授業を推進していきたいと考えています。



〈内町小学校で説明する一平君〉



〈宮小学校で発表する瑛汰君〉

自転車保険の加入について

先日、いわき市教育委員会主催の会議の際に、児童生徒の自転車事故についてのお話がありました。

最近では、自転車で走行中に歩行者と衝突して相手にけがを負わせるなど、自転車が加害者になる案件も少なくないそうです。

10月に実施した交通教室の際に、いわき警察署の方からも同様のご指導をいただきました。

平成25年に、兵庫県で起きた事件では、自転車を運転していた小学5年生に対して約9500万円の賠償を求める判決が出されたこともありました。

自動車を運転する大人が万が一に備えて自動車保険に入るように、自転車を運転する場合にも、年間数千円で加入できる自転車保険に加入することを勧めて欲しいということでした。

ぜひ、万が一の場合に備えて、ご家庭でもご検討をお願いいたします。



オポチュニティ・コストの考えから・・・次年度に向けて

オポチュニティ・コストとは、訳すと「損失利益」のことです。何かひとつの物事を行おうとした時に、それに代わって失われるもののことです。例えば、見学学習に行くとした場合、通常、教室で行う授業が失われ、また、交通費等の必要経費が失われます。これが「オポチュニティ・コスト」です。学校の教育活動でも、この「オポチュニティ・コスト」がどれだけかを考えて計画を立てていく必要があります。

特に、白水小学校においては、児童数、学級数の減少により、昨年度と同じような教育活動を行おうとすれば、以前よりも準備等に多くの時間がかかってしまいます。つまり、それだけの時間を失い、その時間でできる授業の内容が失われてしまうということになります。

もちろん、多くの時間を費やして実施する行事等にも様々な価値があります。ですから、行うことによって得られる利益と、失われる損失を比較して実施するかどうかの判断をしていかなければなりません。

いよいよ、次年度の教育活動の計画を立てる時期になってきます。保護者の方々や地域の皆様のご意見も伺い、よりよい教育活動にしていきたいと考えています。

ホームページでも情報を発信しています。携帯電話からでも見ることができます。下のバーコードを読み取ると、本校のホームページにつながります。

